

かがやけ

あさひ

校長室だより 7月

価値がある。生きていける。人間は、ただ生き

明石家さんまというタレントがいます。笑いをうむ天才のような芸人ですね。そんなさんまさんは実は家族に縁の薄い人だったのです。赤ちゃんの頃にお母さんを亡くし、弟さんは実家の火事で亡くし、その直後にお父さんまで亡くしてしまいました。そして、さんまさん本人も520人の人達が亡くなった史上最悪の墜落事故をおこしたジャンボ機に乗る予定だったのが、急に予定が変更になり乗らなくなって命拾いをしたそうです。

こういう経験をしてきたさんまさんは、いつしかある言葉を大切にするようになりました。「生きていだけで丸儲け」これは、人間は生きている、ただそれだけで価値がある

という意味です。家族の死を経験し、自分も死にそうになったさんまさんだからこそ、この言葉を大切にするようになったのだと思います。「生きていだけで丸儲け」の生きているの「い」と丸儲けの「まる」をとって、自分にとって大切な娘さんに「いまる」と名付けたそうです。生きていることは、それだけで素晴らしい、この命を大切にしてほしいという思いがひしひし伝わってきます。

ドロシー・ロー・ノルトさんの詩を紹介します。

批判ばかりされた子どもは、非難することをおぼえる
殴られて大きくなった子どもは、力に頼ることをおぼえる
笑いものにされた子どもは、ものを言わずにいることをおぼえる
皮肉にさらされた子どもは、鈍い良心の持ち主になる

しかし

激励を受けた子どもは、自信をおぼえる
寛容に出会った子どもは、忍耐をおぼえる
賞賛を受けた子どもは、評価することをおぼえる



フェアプレーを経験した子どもは、公正をおぼえる
友情を知る子どもは、親切をおぼえる
安心を経験した子どもは、信頼をおぼえる
可愛がられ抱きしめられた子どもは、世界中の愛情を受け感じることを
おぼえる

※この詩を読んだとき、深く心にすんと落ちました。私たち大人が子どもと
接し、大切にしないといけないポイントが明確に示されています。

旭ハッピーパーク 大成功やったね



毎年、みんな
が楽しみに待っ
ている行事がや
ってきました。
学校あげて、子
どもたちが主体
的な活動をし、
楽しく遊ぶこと

で他の学年との交流を深めたり、低学年とのつながりを通して、高学年とし
ての自覚を育てることを目当てにしています。



出し物も『4ニバーサル1 ジャパン』(4-1)
『ファンタステックスタジオジャパン』(4-2)
『ザ・トレジャーハンティング』(4-3)
『ラウンド 51』(5-1) 『映画逃走中 絶対に
負けられない戦い』(5-2) 『ブルゾン 5-3 ウ
ィズB』(5-3) 『劇団・名探偵コナンとタイ
ムスリップ』(6-1) 『限かいをこえろ!!挑戦者
たちの君の名は』(6-2) 『爆笑マリオランド
6-3』(6-3) どの学級も時間をかけながら工夫
した出し物を企画してくれていました。



劇団を作ったり、
映画を作って上映し
たり、お客さんが来
てくれるように呼び
込みもしてくれてい
ました。みんな大喜
びでしたよ。